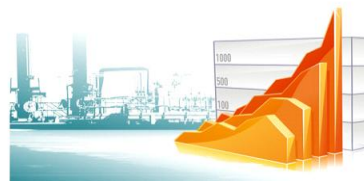


岐阜経済レポート



令和8年8月分
岐阜県商工労働部

※企業等へのヒアリングは8月25日～ 27日を中心に実施し、10月1日時点で作成。

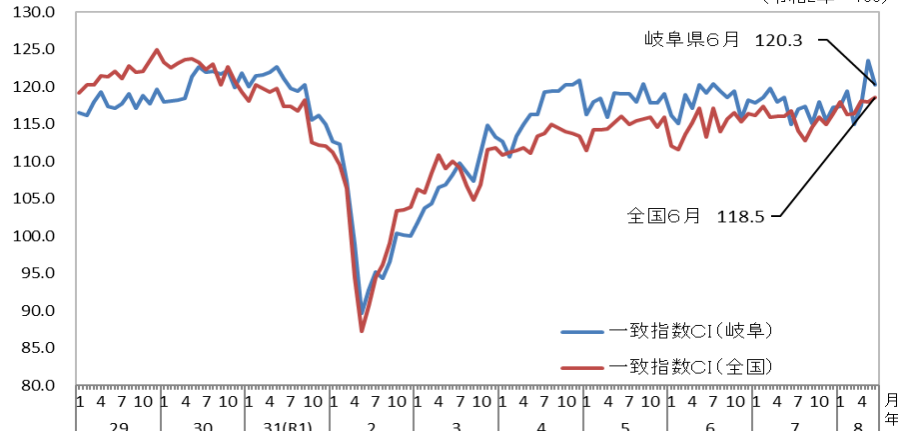
景気動向

○6月の景気動向指数(一致指数)は、120.3
で前月比▲3.2ポイントとなった。
○7月の県内中小企業の景況感は、▲26.0で
前月比横ばいとなった。

○7-9月期の景況DI見通しは、製造業で前期比
▲1.3ポイント、非製造業で▲3.9ポイントと
なった。売上高DI見通しは、製造業で前期比▲
6.0ポイント、非製造業で同▲9.4ポイントと
なった。

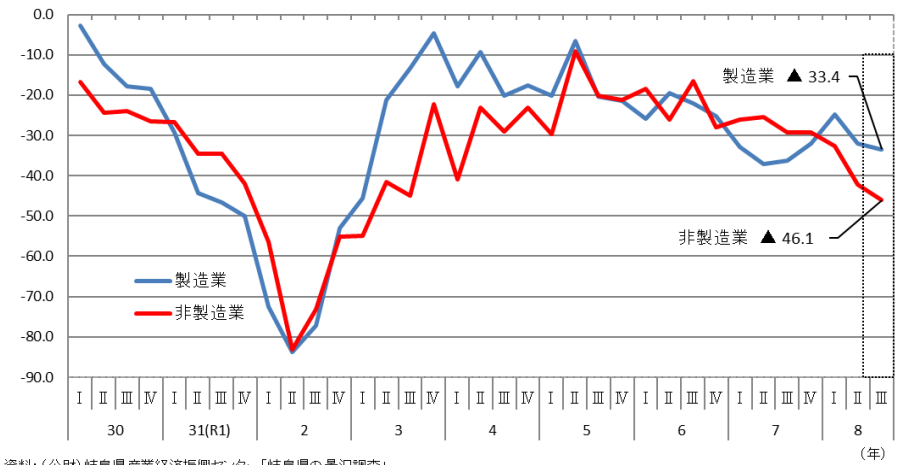
岐阜県及び全国の景気動向指数(一致指数)の推移

(令和2年=100)



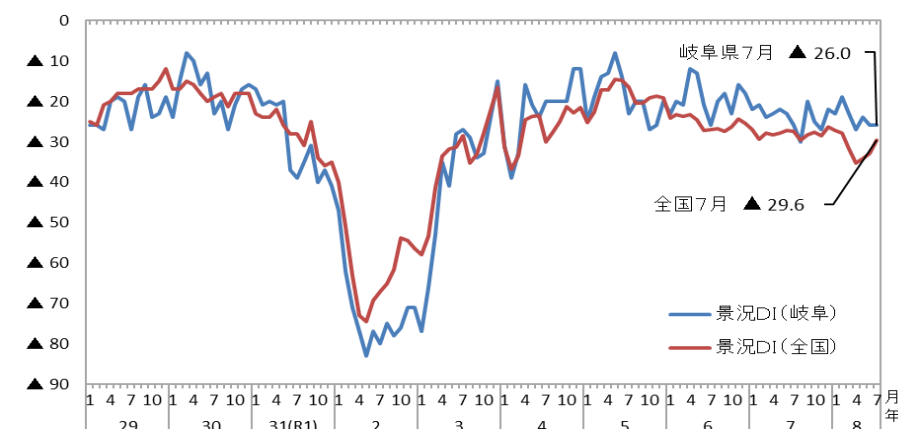
資料: 県統計課「岐阜県景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」

県内企業の景況DI(増加-減少)の推移



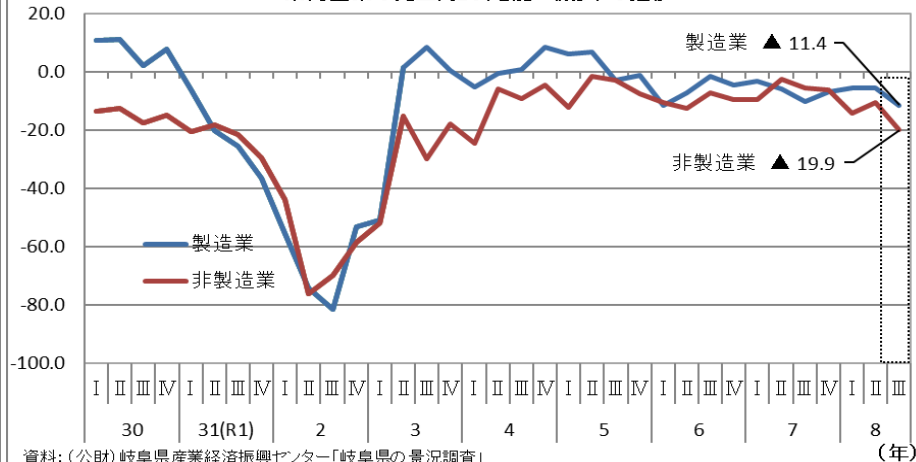
資料: (公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

岐阜県及び全国の中小企業の前年同月比景況感DI(好転-悪化)の推移



資料: 岐阜県中小企業団体中央会「岐阜県内中小企業の景況動向」、全国中小企業団体中央会「中小企業月次景況調査」

県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移



資料: (公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

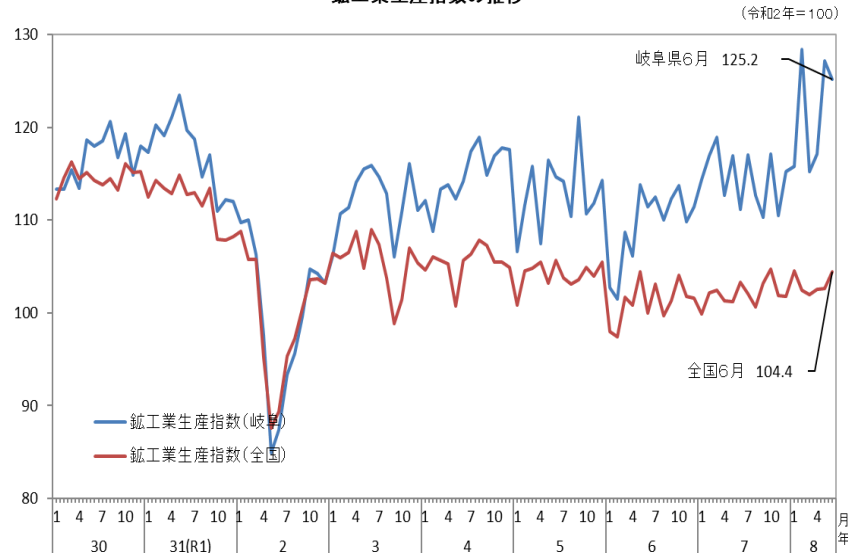
製造業

○6月の県内鉱工業生産指数(季節調整済)
は、125.2で前月比▲1.6%となった。

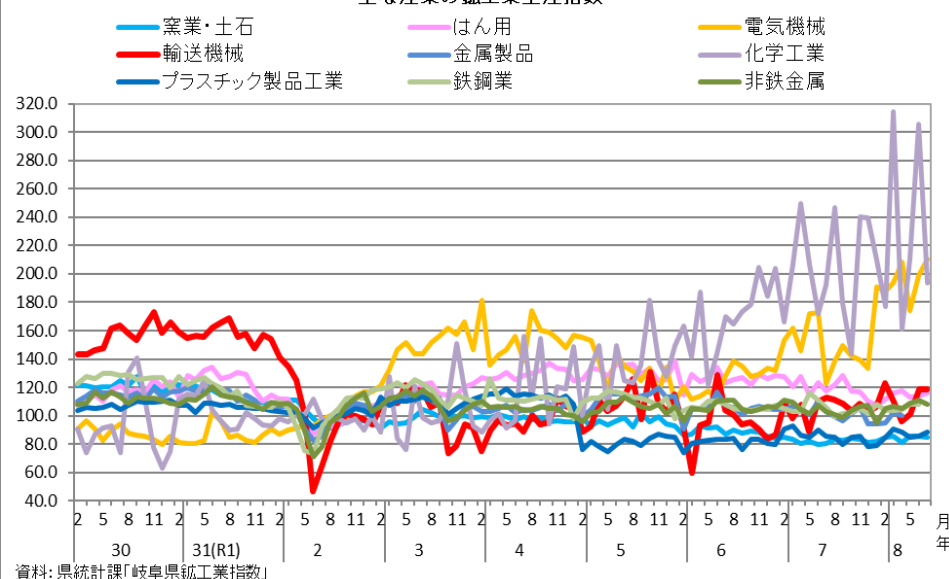
○6月の全国の鉱工業生産指数(季節調整済)
は、104.4で前月比1.8%上昇となった。

○6月の主な産業の指数は、電気機械で前月比
5.8%、金属製品で同4.1%、プラスチック製品で
同3.2%、はん用で同2.3%上昇した一方で、化
学工業で同▲36.5%、非鉄金属で同▲3.1%、
窯業・土石で同▲0.7%、輸送機械で同▲0.1%と
なった。

鉱工業生産指数の推移



主な産業の鉱工業生産指数



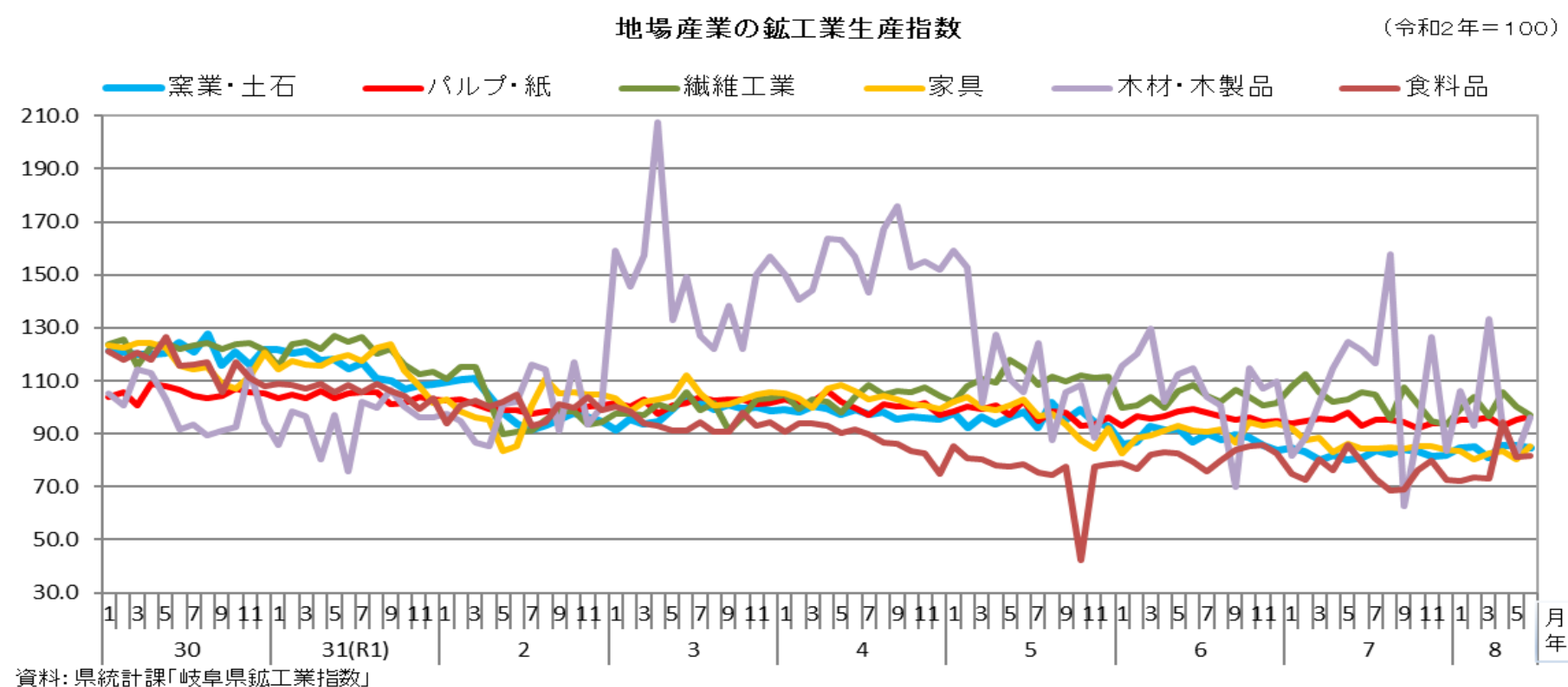
現場の動き

(※中東情勢、熊本地震に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

- ◆ 航空機部品については、需要の拡大に伴い製造ラインを増やした。(輸送用機械)
- ◆ 建設機械関係の受注が増加しており、業績は引き続き好調。(輸送用機械)
- ◆ 自動車メーカーの新車発表のサイクルが長くなり、新しい金型の受注が極端に減少した。(生産用機械)
- ◆ ナフサの原料高により収益が圧迫されていたが、販売単価引き上げがあり、単月では収益が改善した。(プラスチック製品)
- ◆ 熊本地震の影響を受け、10%程度の減収見込み。(輸送用機械)

製造業－2

○6月の地場産業(刃物を除く)の鉱工業生産指数は、木材・木製品で前月比17.4%、家具で同6.4%、パルプ・紙で同1.2%、食料品で同0.6%上昇した一方で、繊維工業で同▲2.9%、窯業・土石で同▲0.7%となった。



現場の動き

(※中東情勢に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

- ◆ 陶磁器メーカーでは、原料や燃料等の高騰による製品値上げ要請が生じているものの、商品への販売価格に完全に転嫁できず収益は一段と先細りとなっている。(陶磁器)
- ◆ 和紙の照明はインバウンドが好調。京都、東京エリアでの好調に加え、アメリカ向けの輸出も増えている。(パルプ・紙)
- ◆ 為替が円安に進み、輸入木材が想定より約10%高騰。直近の収益性が悪化している。(木材)

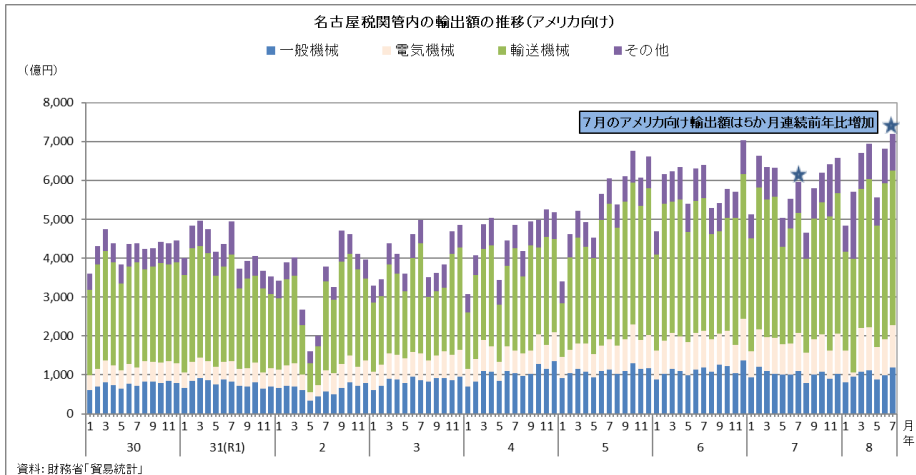
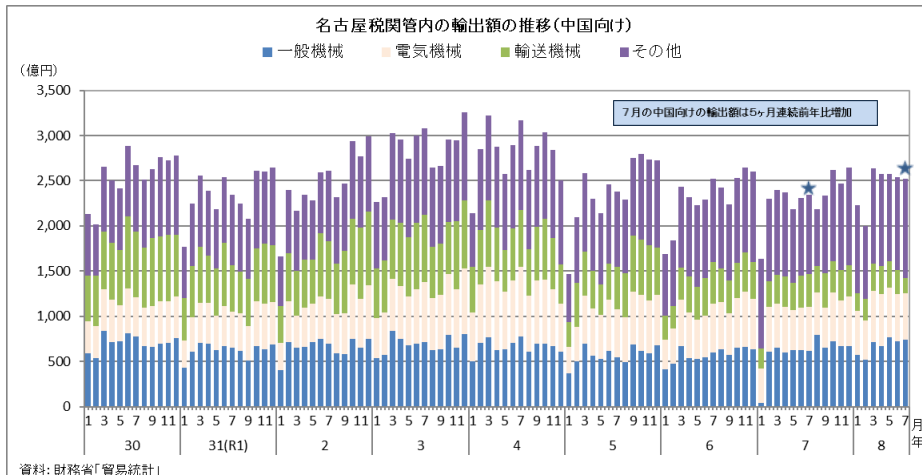
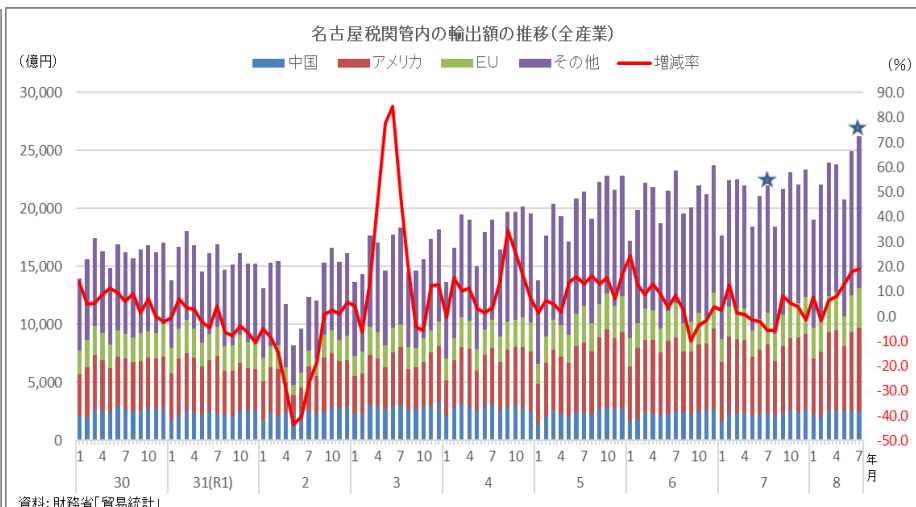
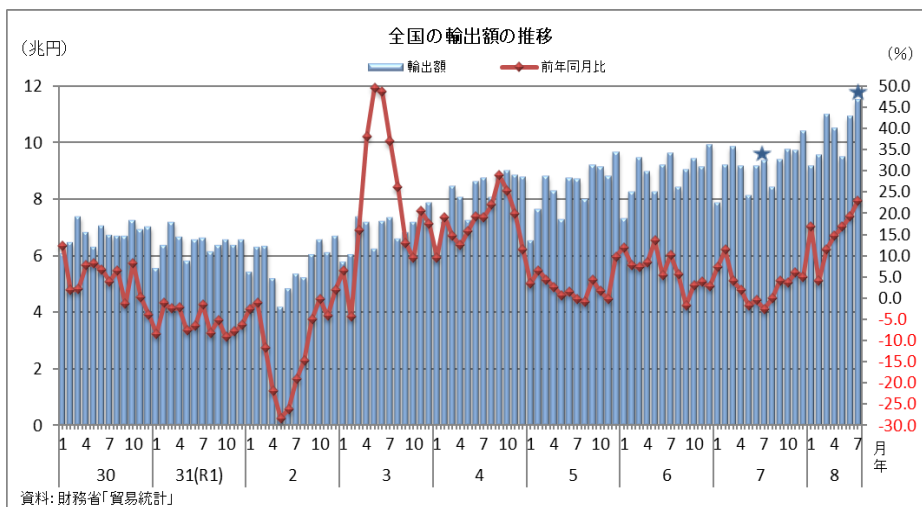
輸 出(名古屋税関管内)

○7月の輸出額(全国)は、11兆5,093億円で前年同月23.0%増加となった。

○7月の輸出額(名古屋税関内)は、2兆6,241億円で前年同月比19.2%増加となった。

○中国向けは、全体で前年同月比7.7%増加となった。その内、一般機械で同20.1%、電気機械で同5.1%増加した一方で、輸送機械で同▲53.8%となった。

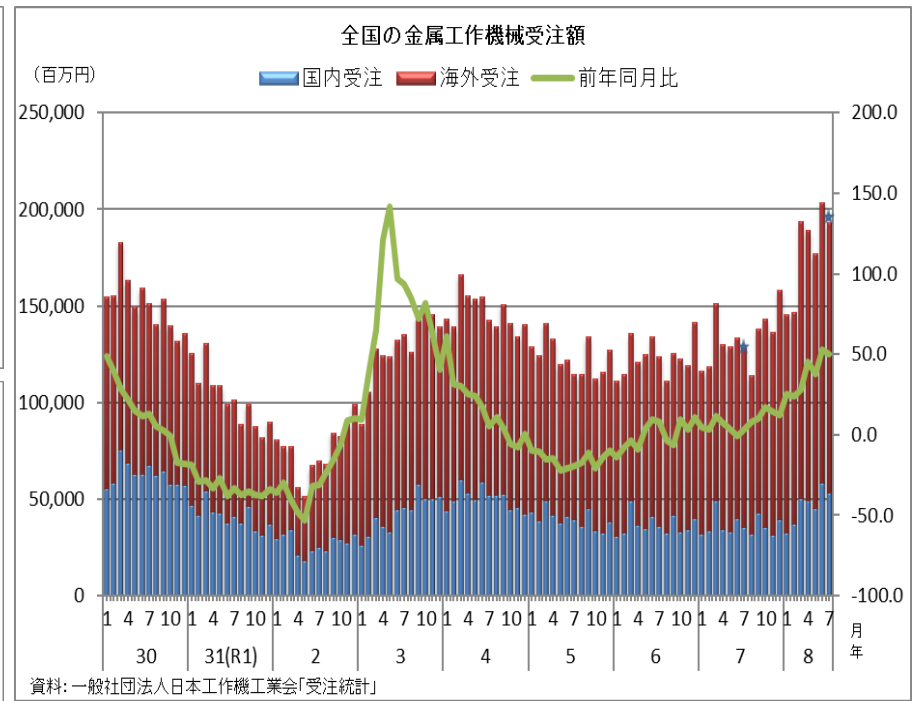
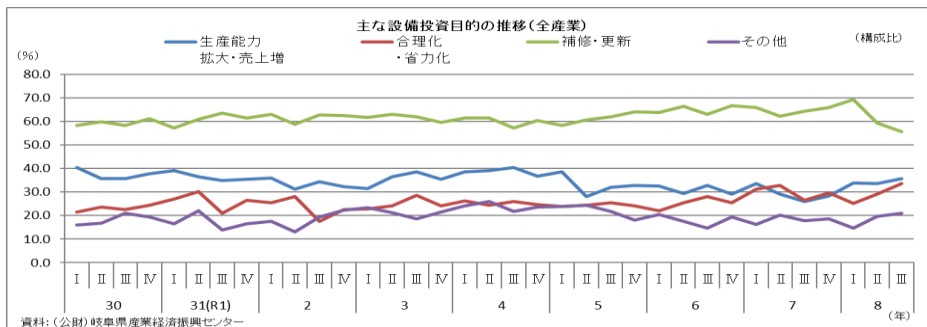
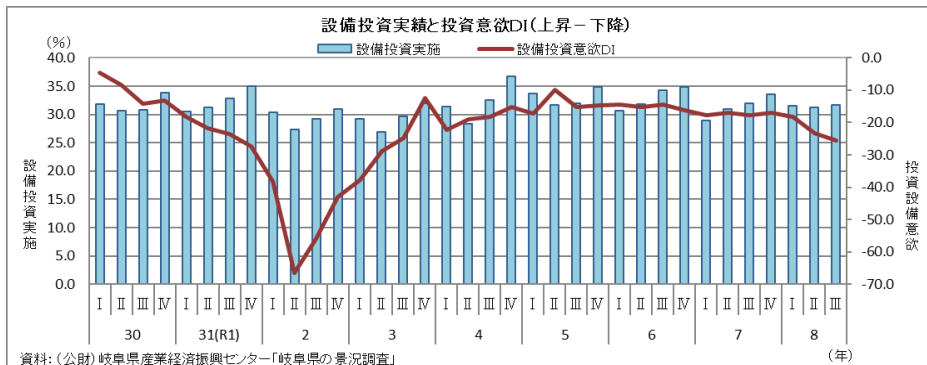
○アメリカ向けは、全体で前年同月比20.9%増加となった。その内、輸送機械で同28.3%、電気機械で同11.7%、一般機械で同7.7%増加となった。



設備投資

○7－9月期の設備投資実施見通しは前期比0.4ポイント上昇、設備投資意欲DI実績は同▲2.4ポイントとなった。設備投資実施見通しの目的別では「合理化・省力化」で前期比4.5ポイント、「生産能力拡大・売上増」で同2.1ポイント上昇、「補修・更新」で同▲3.5ポイントとなった。

○7月の全国の金属工作機械受注額は、全体では前年同月比50.4%増加と13ヶ月連続で前年を上回った。内訳は海外受注は同50.5%増加と22ヶ月連続、国内受注は同50.2%増加と7か月連続で前年同月を上回った。



現場の動き

- ◆ 熱中症対策や職場の魅力向上、生産性の問題からエアコンを28基設置。(輸送用機械)
- ◆ 老朽化対策と省力化対策のため、機械の全面入れ替えを27年春に予定。(輸送用機械)
- ◆ 補助金を活用しながら設備投資を実施している。(木工)
- ◆ 設備投資を行いたいのが厳しい状況。(食品)
- ◆ 半導体関連事業は今後増産が見込まれており、前向きな設備投資が多い。(金融機関)

中東情勢に伴う影響について

- ◆ 石油製品は、以前より順調に入ってくるようになった。ただし、値段の高騰は続いている。(輸送用機械)
- ◆ 燃料依存度の高い業界のため、焼成燃料として使用するLPGや重油価格の高騰は死活問題。全て価格転嫁することは難しく、このまま経費増加が続けば廃業を考える事業所が増加すると懸念している。(陶磁器)
- ◆ 原料、エネルギー高騰により、外注先(下請け)が細っていることが問題となっている。(刃物)
- ◆ ウレタンやシンナーが一時期高騰していた。ピーク時に比べれば価格、供給量ともに落ち着いたが依然として高い。(パルプ・紙)
- ◆ 石油由来の原料が想定より約10%~30%高騰している。必要量はかろうじて確保できているが、直近の収益性は悪化している。(木工)
- ◆ 電力、ガスの価格は、燃料調整費が上昇しており負担が大きくなっている、夏季は補助金が適用されるが以降は高騰することを懸念。(アクティブC)

熊本地震、千葉豪雨に伴う影響について

- ◆ 大手自動車メーカーの九州工場の稼働停止に伴い、自社の九州工場が一時期稼働停止をしていたが、影響は限定的である。千葉豪雨に関しては今のところ影響はない。(輸送用機械)
- ◆ 熊本には大手自動車メーカーの完成車組み立て工場や取引先もあり、操業休止により部品受注が微減しており、売上も前年同期比で若干の減収となっている。(輸送用機械)
- ◆ 熊本にある大手自動車メーカーの工場が被災し、納入が遅れている。納入時期は未定。(生産用機械)
- ◆ 熊本工場の稼働を停止。地震による生産計画の見直しや業務の調整で多忙を極めている。(プラスチック製品)
- ◆ 現時点で人材・資材面への大きな影響はないと聞いている。一方、今後、復興事業が本格化することで、人材や資材の不足、価格上昇等の影響が生じる可能性があるため、動向を注視していく。(建設)

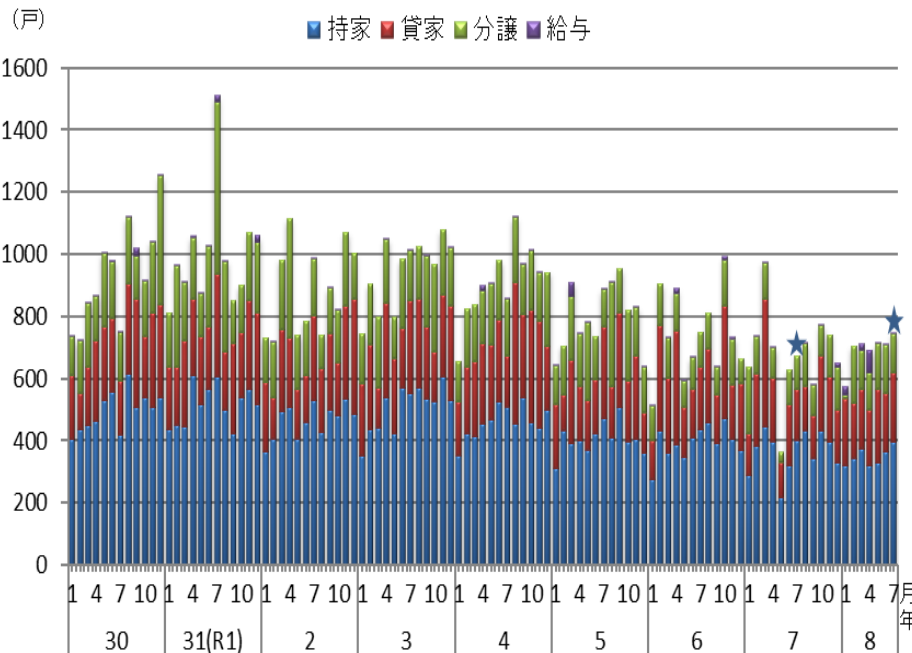
住宅・建築投資

○7月の住宅着工戸数は、前年同月比11.0%増加となった。

○貸家で前年同月比36.8%、分譲で同14.5%増加、持家で同▲1.3%となった。

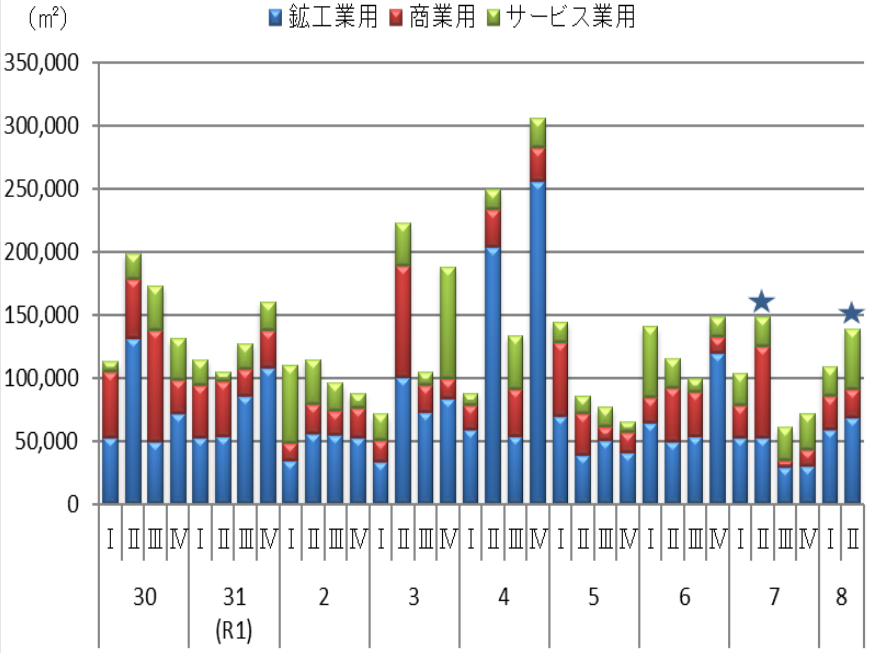
○4－6月期の非居住用の建築着工床面積は、サービス業用で前年同期比97.4% 鉱工業用で同31.7%上昇、商業用で同▲68.7%、全体で同▲6.8%となった。

新設住宅着工戸数の推移



資料: 県建築指導課「岐阜県建築着工統計」

県内建築着工床面積(非居住用・用途別抜粋)



資料: 県建築指導課「岐阜県建築着工統計」

(年)

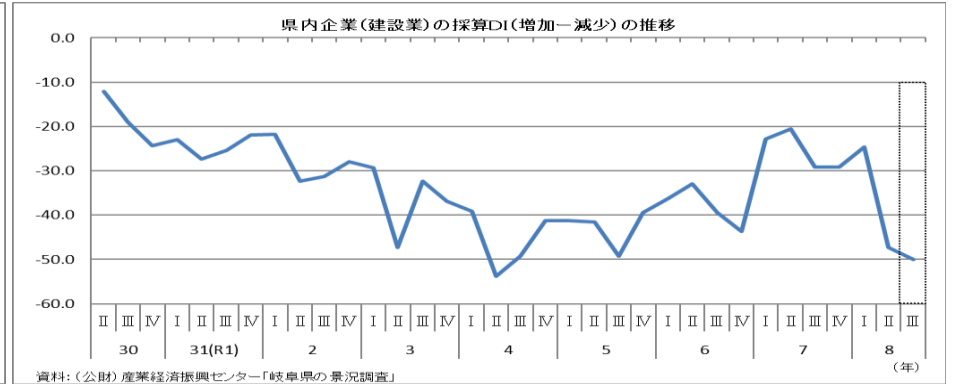
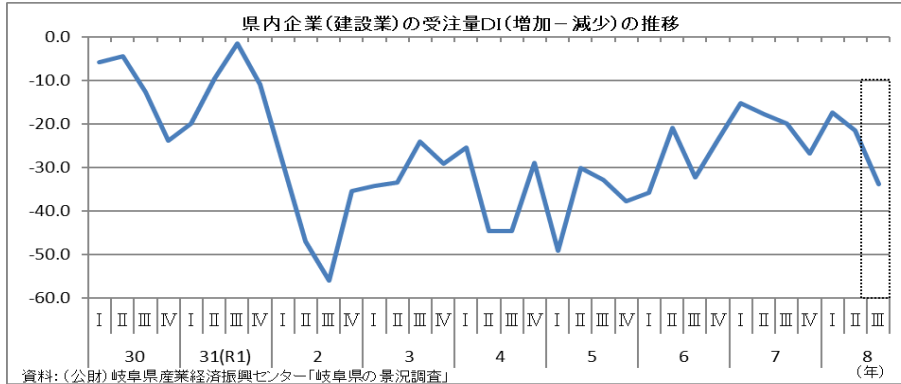
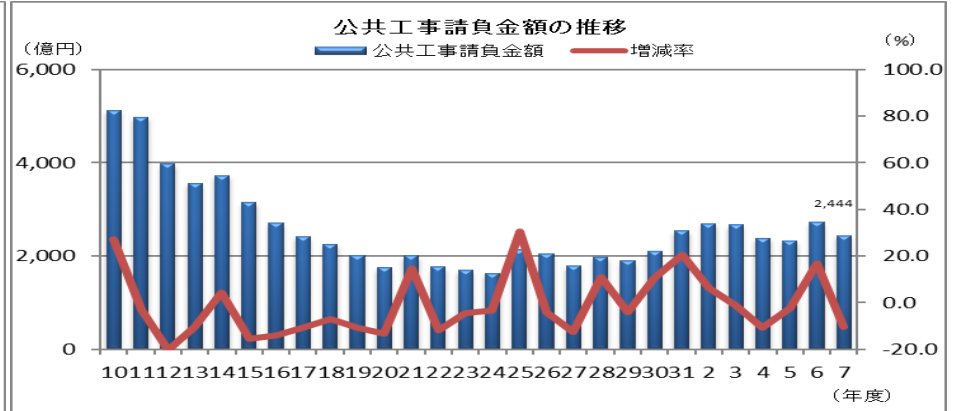
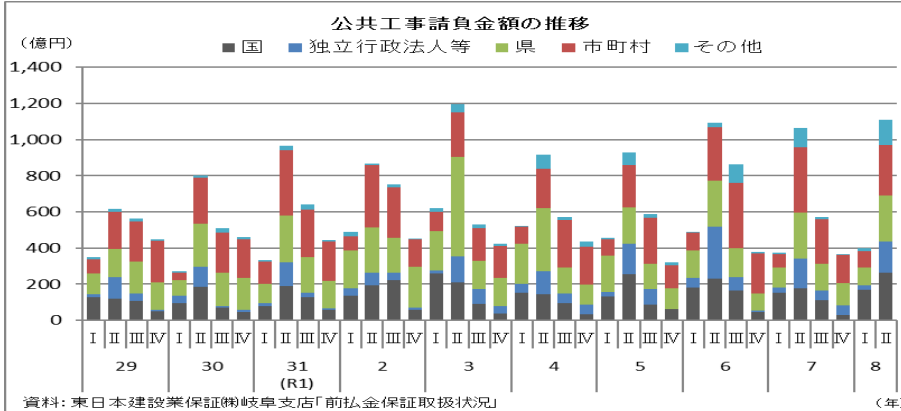
現場の動き

- ◆ 物価高の影響で実質賃金がマイナスとなっていることにより、消費マインドが下がっていると感じる。若い世代は「憧れ消費」をしない傾向があるため、家のような大きな買い物を控えている。(住宅)
- ◆ 競合他社との競争はあるが、価格転嫁も理解を得られやすい状況にあり、緩やかな価格転嫁を予定している。(卸売)
- ◆ 中東情勢の影響は緩和されてきており、資材も調達できている。ナフサ関連製品の不安定供給についてはあまり聞かなくなった。(卸売)

建設工事

○4－6月期の発注者別の公共工事請負金額は、国で前年同期比47.5%、独立行政法人等で同6.1%、県で同1.2%、全体で同2.6%増加となった。

○県内建設業の7－9月期の受注量DI見通しは前期比▲12.2ポイント、同採算DI見通しは▲2.7ポイントとなった。



現場の動き

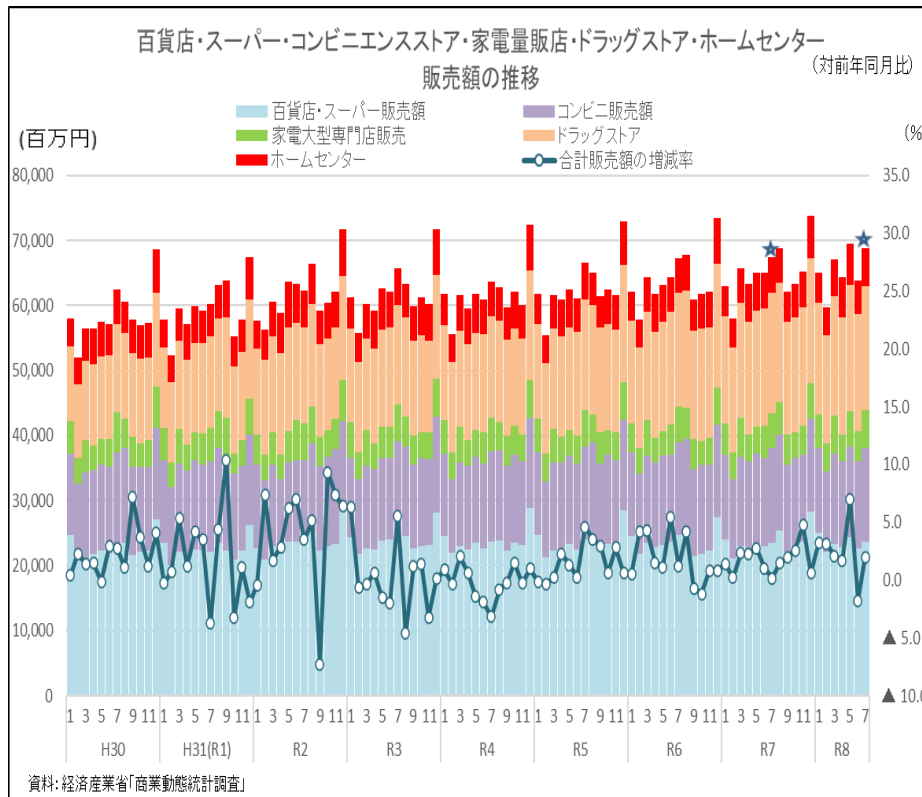
- ◆ 合材、塗料、接着剤、塩ビ管などの流通が停滞しており、それに併せて価格の上昇も激しい。
- ◆ インフラ老朽化対策、防災・減災投資、再生可能エネルギー関連、都市再開発などの需要は今後も続くとみられる。
- ◆ 発注案件の工事金額規模が小規模化していると感じる。有資格技術者の確保には限りがあるため、限られた人員を効率的に配置できるよう、可能な限り1件当たりの工事規模を拡大してほしい。

(以上、建設)

個人消費(流通・小売)

○7月は家電大型専門店で前年同月比13.7%、ホームセンターで同5.0%、ドラッグストアで同2.5%、百貨店・スーパーで同0.4%上昇した一方、コンビニで同▲1.3%となった。全体では2.0%と2ヶ月ぶりに上昇となった。

○7月の新車販売台数(除く軽)は、前年同月比21.2%増加となった。軽自動車では同▲5.4%となった。合算では同11.9%と4か月連続で前年同月比を上回った。



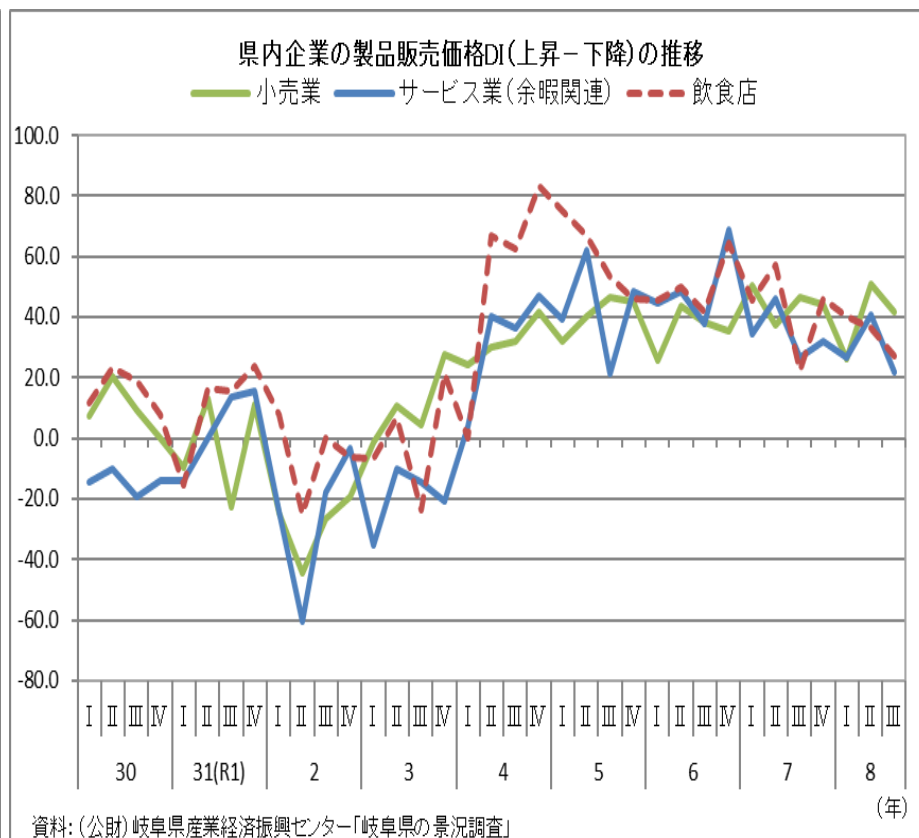
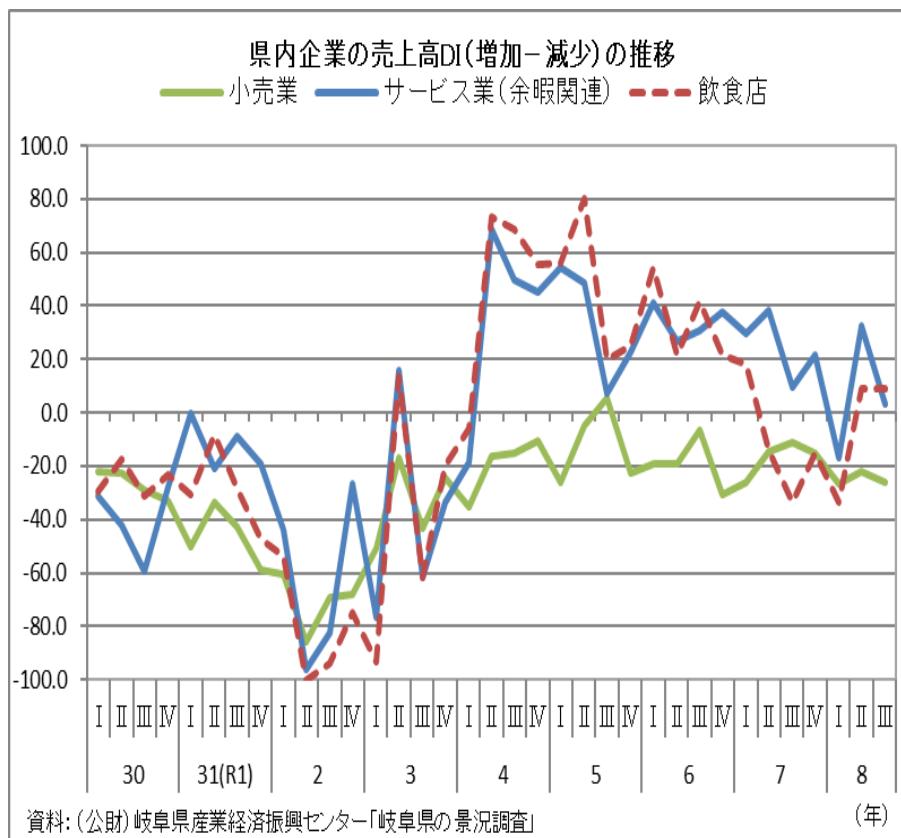
現場の動き

- ◆ 単月での売上は7月歴代4位、客数は7月歴代1位。累計(4-7月)では売上歴代3位、客数は歴代1位となった。
- ◆ 先月同様、商品の仕入れ条件が厳しくなっており、9月以降も価格上昇の傾向は続く見込み。
(以上、県内商業施設)

個人消費(流通・小売)－2

○7－9月期の売上高DI見通しは、飲食店で前期比横ばい、サービス業(余暇関連)で同▲29.1ポイント、小売業で同▲4.3ポイントとなった。

○同じく販売価格DI実績は、サービス業(余暇関連)で前期比▲18.8ポイント、小売業で▲9.4%、飲食店で同▲9.1ポイントとなった。



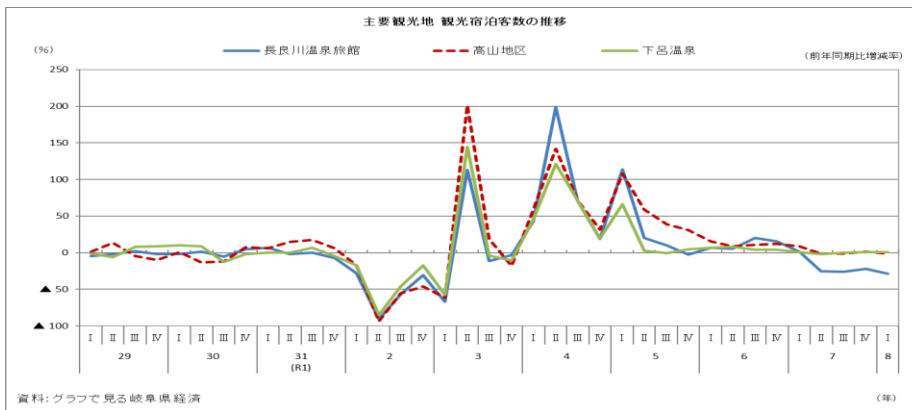
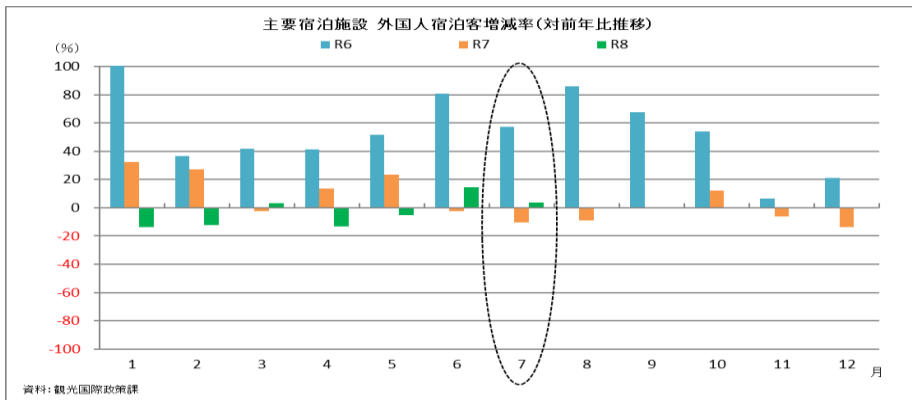
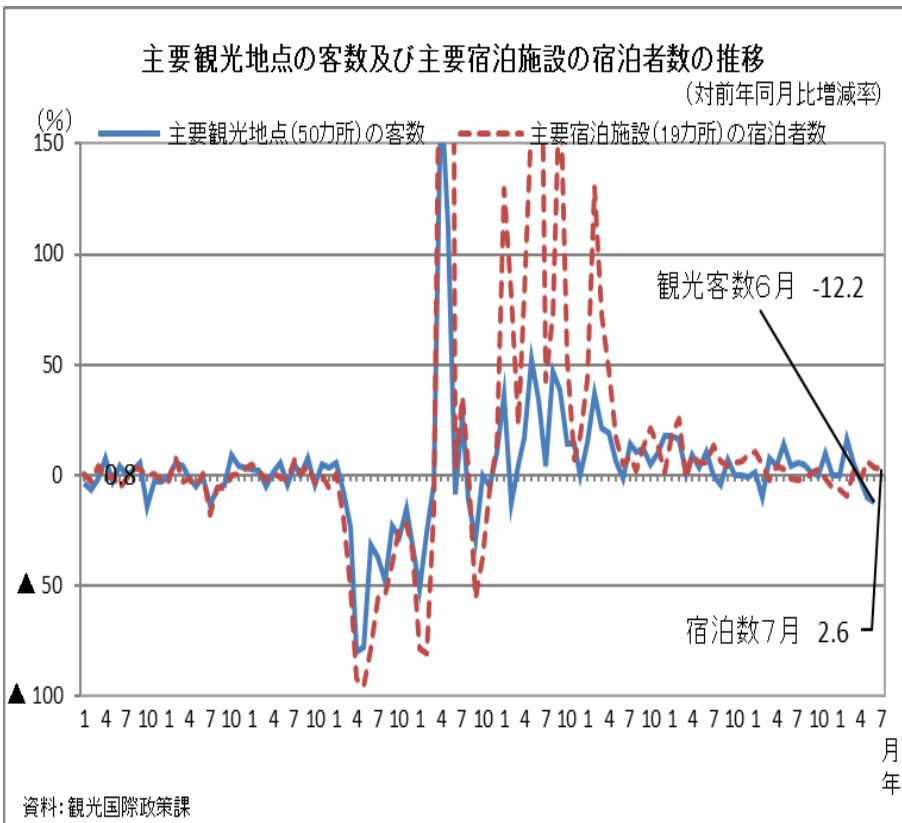
現場の動き

- ◆ 気温が高く午後の人出はほとんどない。(大垣市商店街)
- ◆ 商品の仕入れ価格については、値上げが続いており、販売価格への転嫁をせざるを得ない状況。観光土産品は価格の上昇分をすべて販売価格に転嫁することが難しく、利益面で厳しい。(高山商店街)

觀光

○主要宿泊施設における7月の宿泊者数は、前年同月比2.6%増、令和元年同月比では6.3%減となっている。

○7月の主要宿泊施設における外国人宿泊者数は、コロナ前の令和元年同月比では、27.0%増となっている。

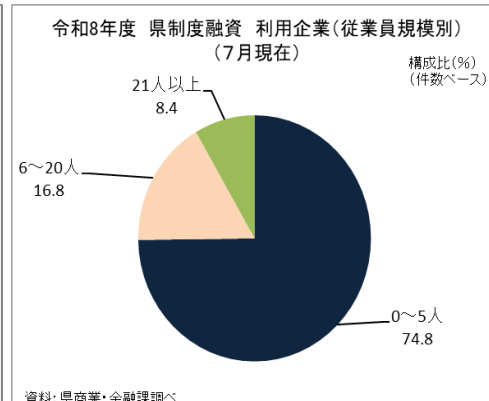
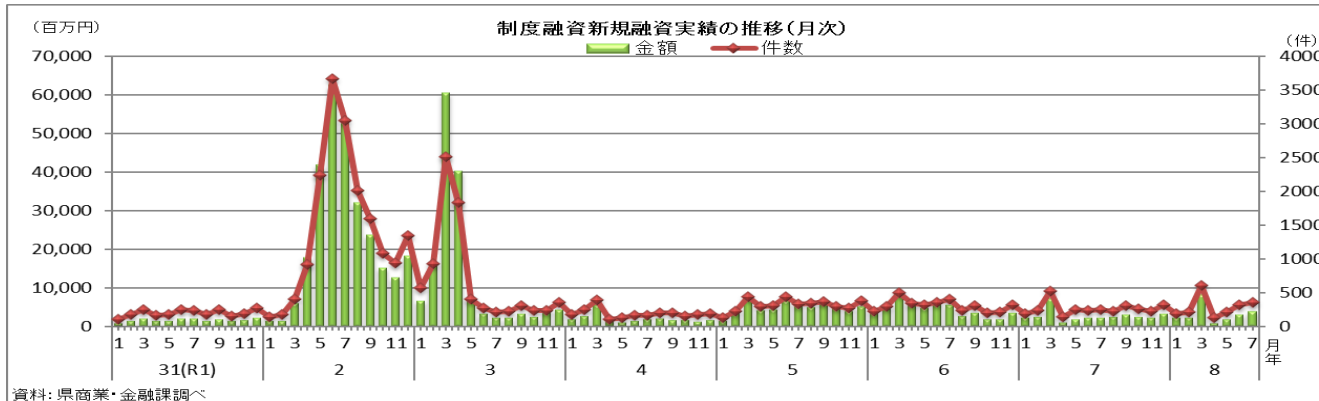
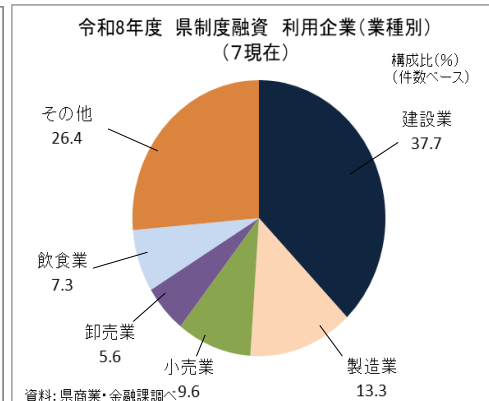
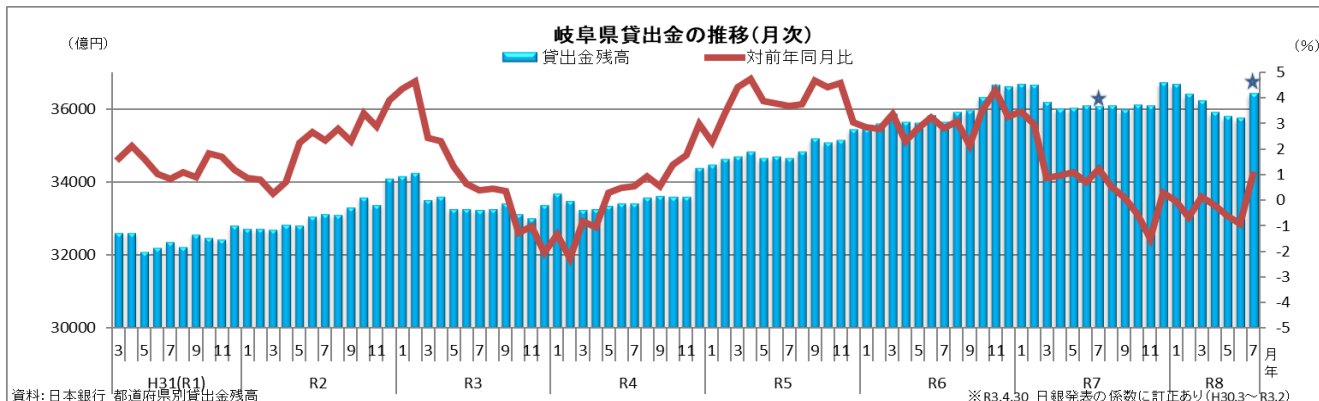


現場の動き

- ◆イラン情勢等の影響により、原材料等の高騰が続いている。(岐阜市、大垣市、郡上市、高山市、下呂市の宿泊施設)
- ◆人材不足が深刻化しており、日本人の人材確保が困難である。(高山市、下呂市の宿泊施設)
- ◆団体予約が減少した。(岐阜市、大垣市、下呂市の宿泊施設)

資金繰り

- 7月の岐阜県貸出金残高は、3兆6,425億円で前年同月比1.0%増加となった。
- 7月の制度融資実績は、金額が3,841百万円で前年同月比65.1%増加、件数は353件で同43.5%増加となった。
- 制度融資利用企業の従業員規模別は、5人以下の事業所が全体の74.8%を占めている。



現場の動き

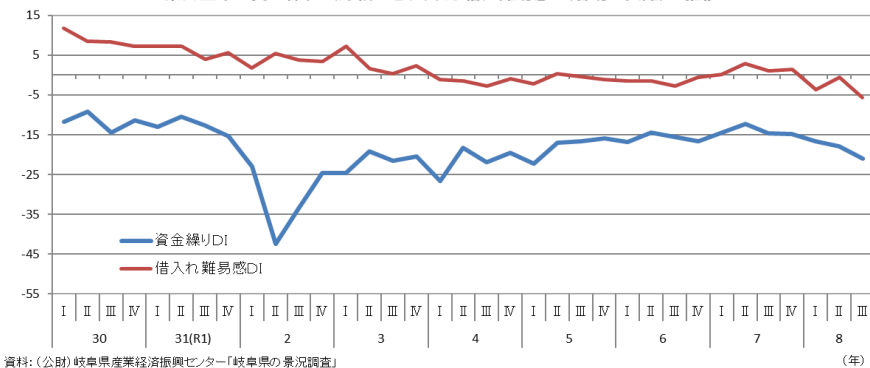
- ◆ 中東情勢の影響による原材料の仕入れに備えるためや、円安の影響により木材、衣料の仕入れ額が高騰したことにより、運転資金の需要が高まっている。
- ◆ 業種問わず企業間で業績の二極化が進んでいる。事業拡大や収益向上を実現する企業がある一方で、業績が悪化し、倒産に至る企業も増加している。

(以上、金融機関)

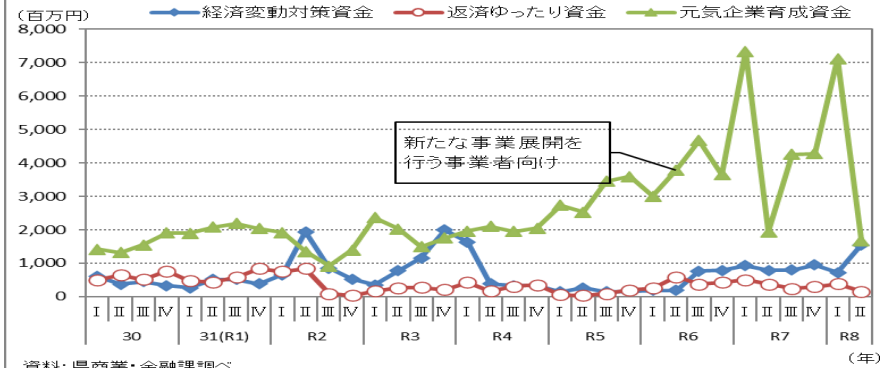
資金繰りー2

- 7－9月期の資金繰りDI見通しは▲20.9で、前期比▲3.0ポイントとなった。同借入難易感DI見通しは▲5.6で、前期比▲5.1ポイントとなった。
- 4－6月期の主要資金別新規制度融資実績は、経済変動対策資金で前年同期比96.0%増加、返済ゆったり資金では同▲58.5%、元気企業育成資金で同▲13.5%減少となった。
- 7月のセーフティネット5号保証承諾実績は、件数が5件で前年同月比横ばい、金額84百万円で同▲59.7%となった。
- 7月の事故報告(保証協会付融資3ヶ月以上延滞)状況は、件数は88件で前年同月比12.8%、金額は1,063百万円で同30.2%増加となった。

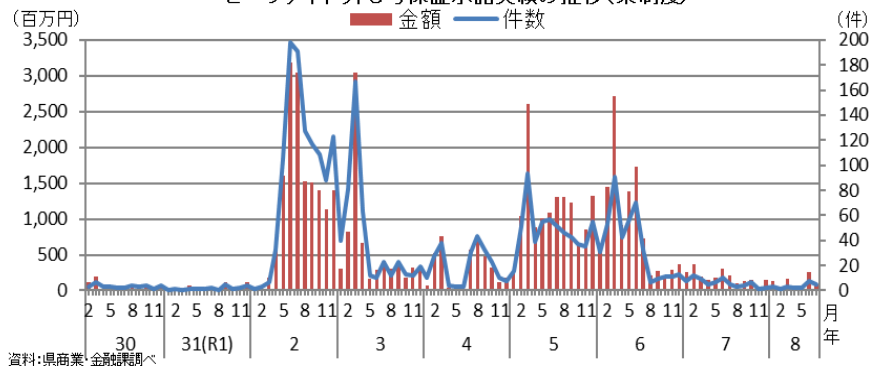
県内企業の資金繰りDI(好転－悪化)及び借入難易感DI(容易－困難)の推移



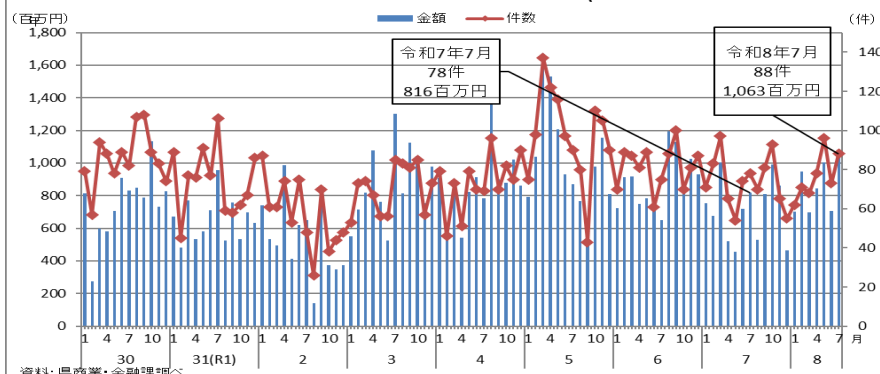
主要資金別新規制度融資額実績の推移



セーフティネット5号保証承諾実績の推移(県制度)

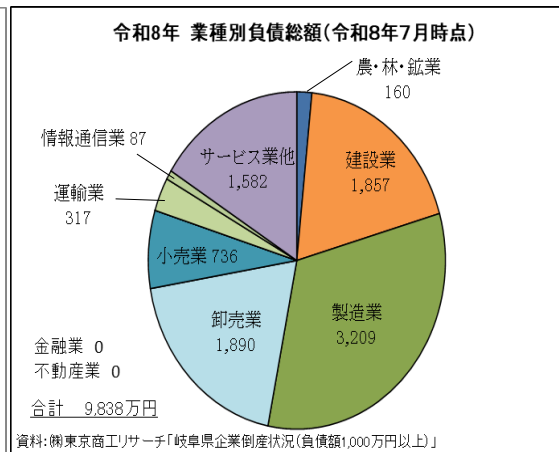
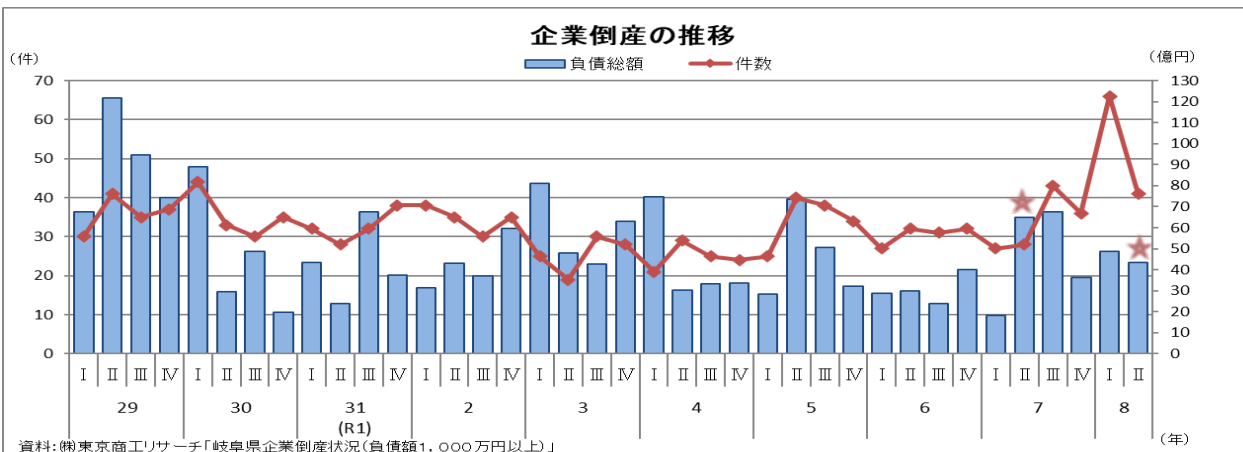
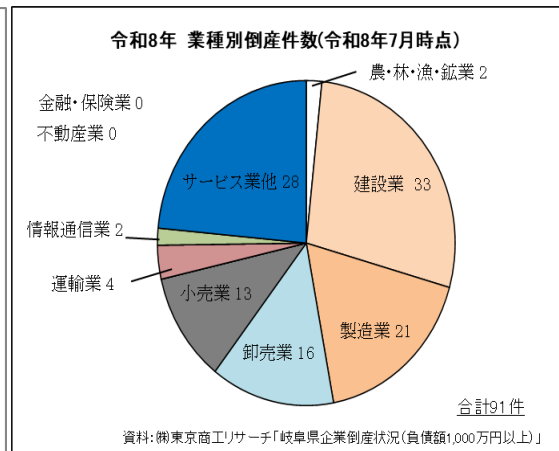
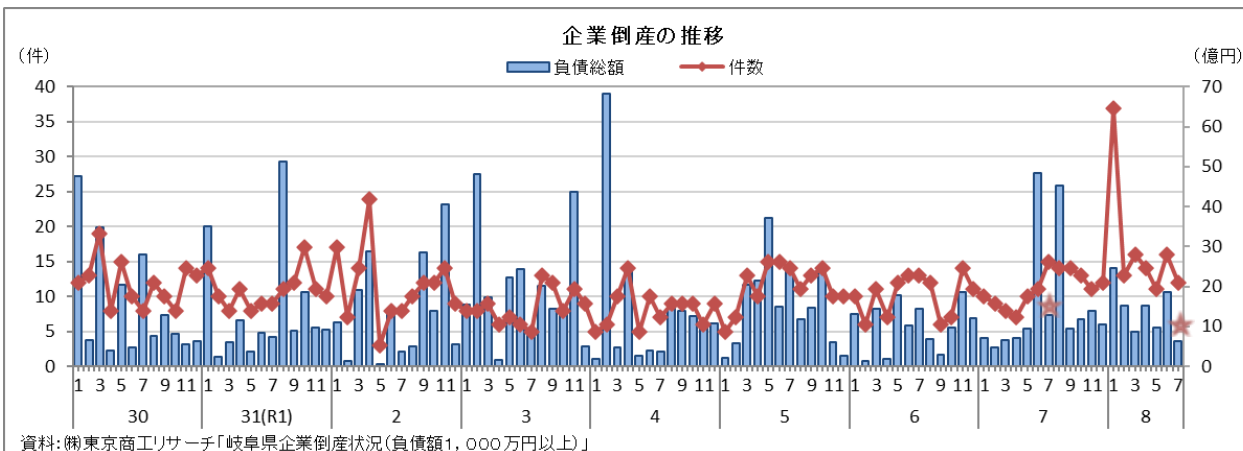


県信用保証協会 事故報告受付状況(毎月)



倒産

○7月単月の倒産件数は12件、負債総額は前月比▲1, 223百万円となり、631百万円となった。
○令和7年7月は負債総額2億円以上の倒産が2件に対して、令和8年7月の同倒産は0件となった。
負債総額は前年同月▲641百万円となった。



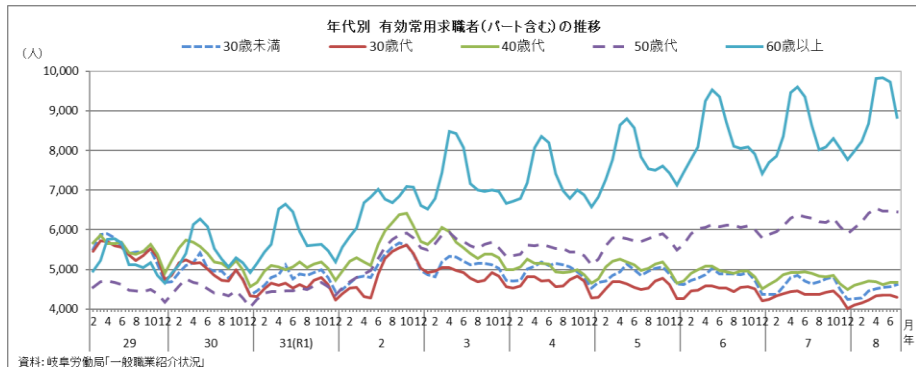
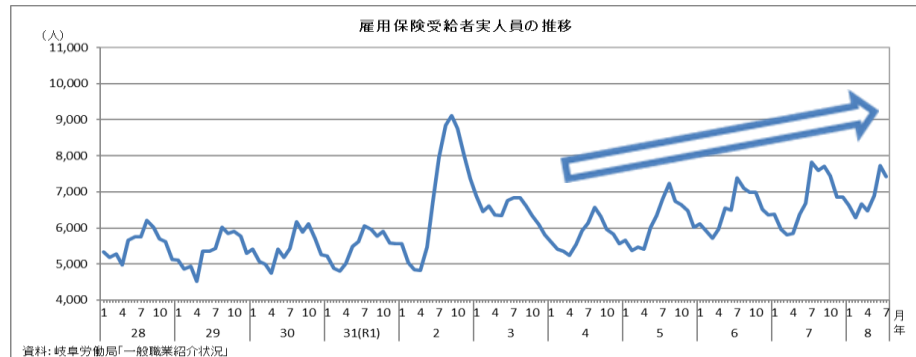
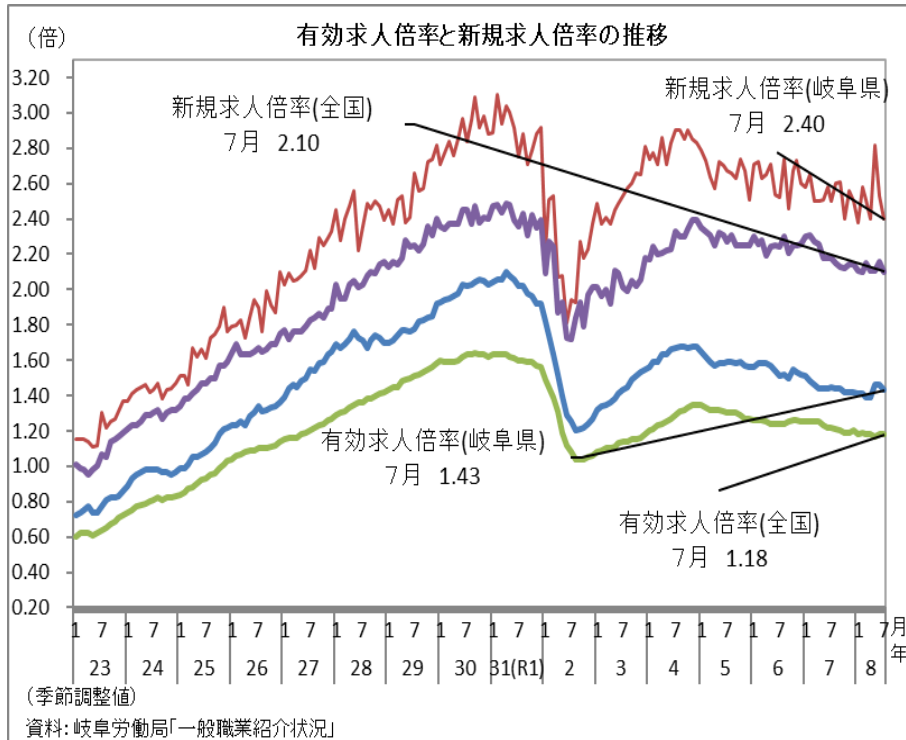
専門機関の分析(東京商工リサーチ・8月24日時点)

◆物価高の要因となっている過度な円安は日米の協調介入で幾分かは緩和されるかに思われるがその効果が持続的でない場合には、人件費や物価高等の価格転嫁が十分に出来ていない中小企業の取り巻く環境は依然として厳しいといえる。そのため、企業倒産は年後半に向けて高止まりの状態が続く可能性が高いと予想される。

雇用

- 7月の有効求人倍率は1.43倍と、前月比▲0.03ポイントとなった。
- 7月の新規求人倍率は2.40倍と、前月比▲0.13ポイントとなった。

- 7月の雇用保険受給者人員は、前年同月比▲5.1%となった。
- 有効常用求職者は、50歳代では41ヶ月連続で上昇、60歳代では11ヶ月連続で上昇した。



現場の動き

- ◆ 固定費として人件費負担が大きくなっていくインフレ社会において、省人化設備投資が増え、従業員数を減少させる見立て。派遣型従業員はすでに減らしている。(輸送用機械)
- ◆ 高卒者の採用は極めて厳しい状況で推移。必要に応じて大卒者をラインに配置している。(輸送用機械)
- ◆ 給与引き上げを行えば、人材は確保できるものの、利益を圧迫することになり、引き上げなければ人材が集まらなくなることから、経営者は人材確保と収益のバランスに苦慮している印象。(金融機関)

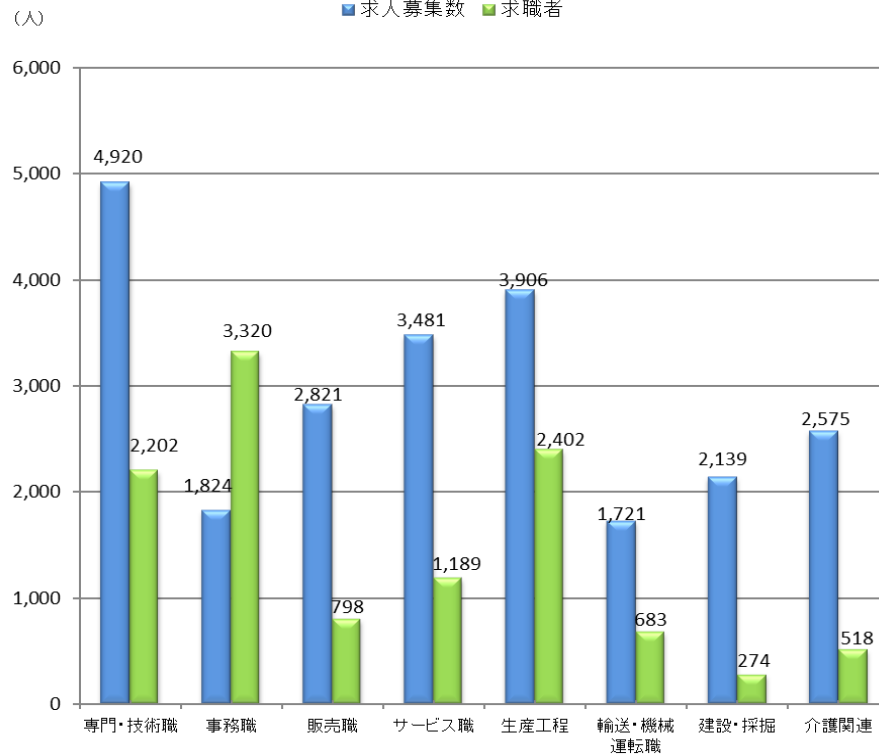
雇 用(職業別)

○有効求人倍率は、建設・採掘で7.81倍、介護関連で4.97倍、販売職で3.54倍、サービス職で2.93倍など、引き続き人手不足の状況は続いている。

○一方で、事務職の有効求人倍率は0.55倍に留まり、求職者のニーズと、求人側のニーズのミスマッチが続いている。

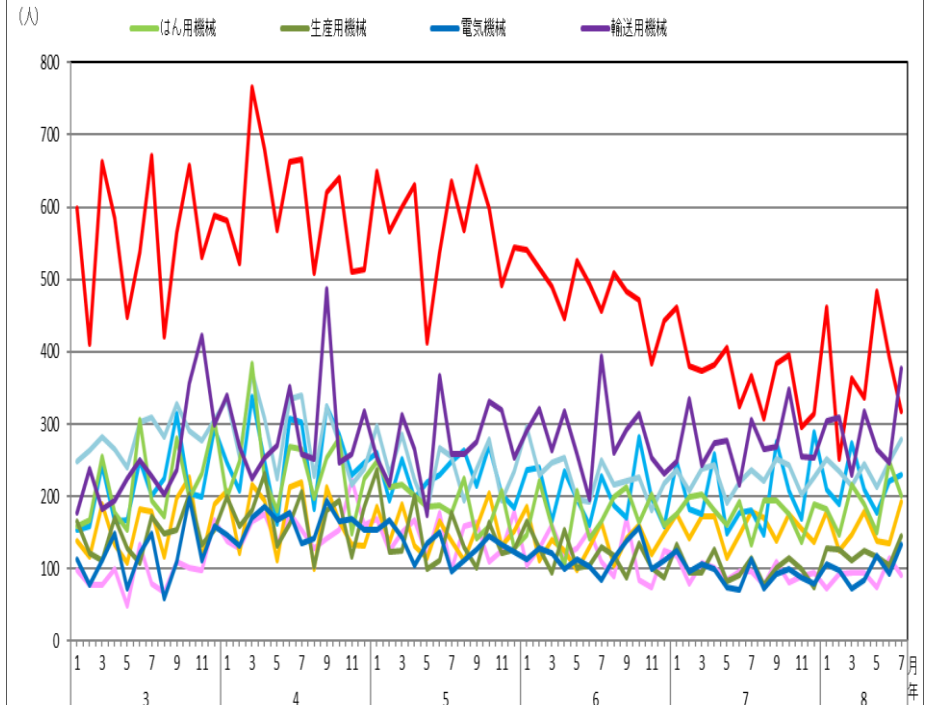
○7月の主要産業別の新規求人数は、はん用で前年同月比50.0%、窯業・土石及び生産用機械で同27.2%、輸送用機械で同23.2%、電気機械で同17.7%、金属製品で同17.3%、プラスチック製品で同7.3増加した一方、食料品製造で同▲13.6%、繊維工業で同▲5.2%となった。

7月 職業別有効求人募集数・有効求職者数(常用的フルタイム)



資料: 岐阜労働局「求人・求職バランスシート」

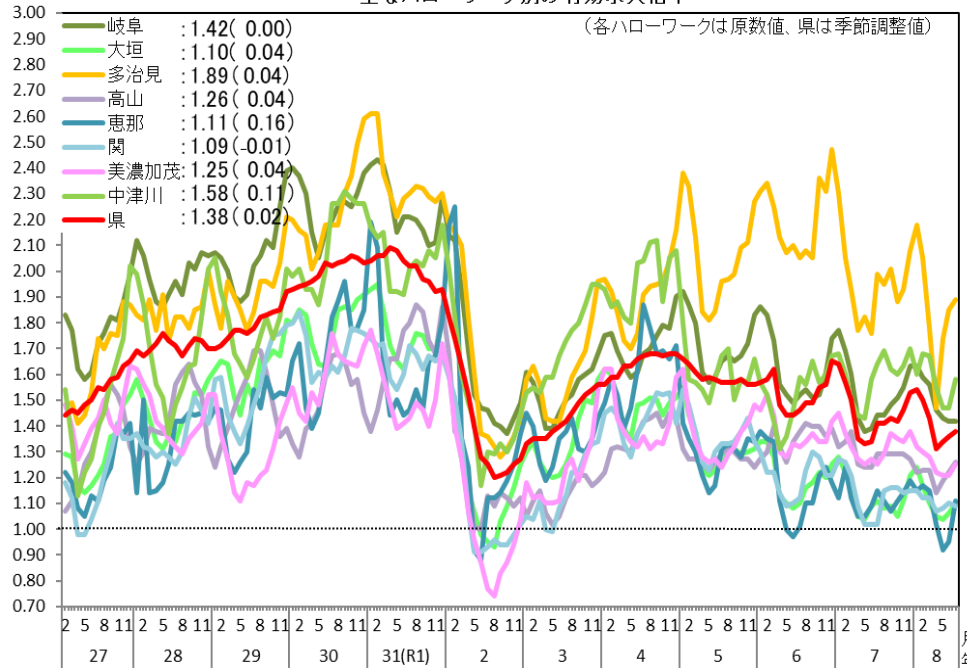
主要産業別 新規求人数(一般+パート)推移



資料: 岐阜労働局「一般職業紹介状況」

雇 用(地域別)

主なハローワーク別の有効求人倍率



注1: 大垣分は揖斐出張所を含む 注2: 平成21年4月以降の関所分は岐阜八幡出張所を含む
資料: 岐阜労働局「一般職業紹介状況」

〇7月の主なハローワーク別の有効求人倍率は、関で前月比減少となった。

現場の動き(前月比)

<ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数は横ばい、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク大垣>

- ◆求人者数は横ばい、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク多治見>

- ◆求人者数は横ばい、求職者数はやや減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク高山>

- ◆求人者数は横ばい、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

<ハローワーク恵那>

- ◆求人者数は減少、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

<ハローワーク関>

- ◆求人者数は減少、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク美濃加茂>

- ◆求人者数は増加、求職者数はやや減少。
- ◆雇用保険受給者数はやや減少。

<ハローワーク中津川>

- ◆求人者数は横ばい、求職者数はやや増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<窓口の様子>※前月比

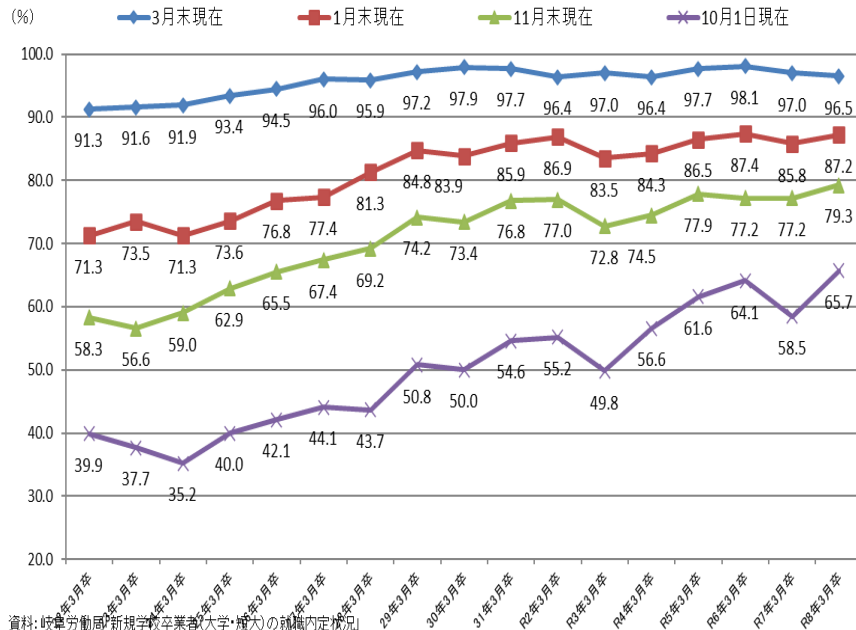
- ◆多治見、恵那、中津川で同じくらい、岐阜でやや空いている、大垣、高山、関、美濃加茂で空いている状況。

雇 用(大学・短大新卒者の就職)

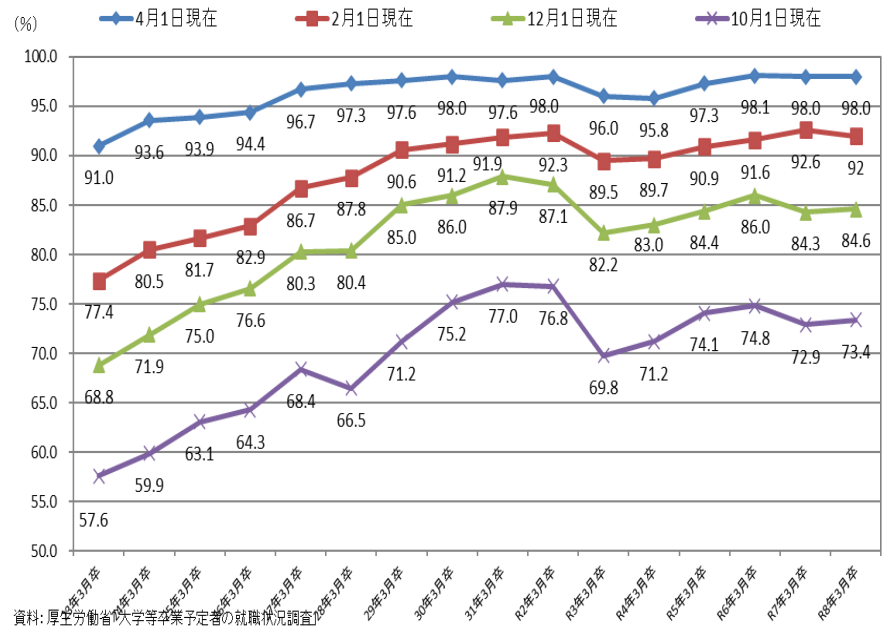
○岐阜県の令和8年3月末現在の大学・短大卒業者(令和8年3月卒業)の就職内定率は、96.5%であり、前年同時点と比べ▲0.5ポイント減少となった。

○全国の令和8年4月1日現在の大学卒業者(令和8年3月卒業)内定率は98.0%であり、前年同時点と同率となった。

新規卒業者(大学・短大)の就職内定率の推移<岐阜県>



新規卒業者(大学)の就職内定率の推移<全国>



現場の動き(2026卒、2027卒の動きなど)

<大学へのヒアリング>

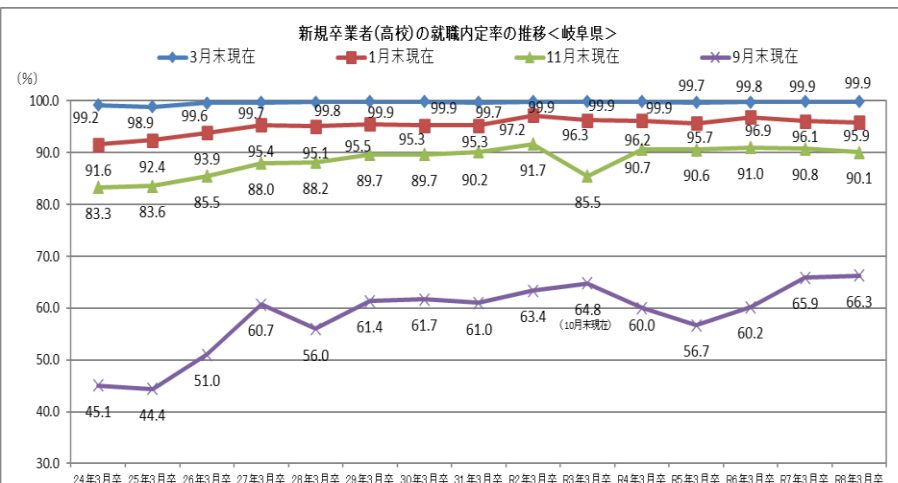
- ◆ 3年生の全体の動きを見ると、ある程度就職早期化が収まっている認識である。
- ◆ インターンシップに行っている3年生は肌感覚で半分程度であり、インターンシップに行っていない3年生の中には、就職に対して売り手市場の認識があるように思われる。

(以上、岐阜・愛知県内大学)

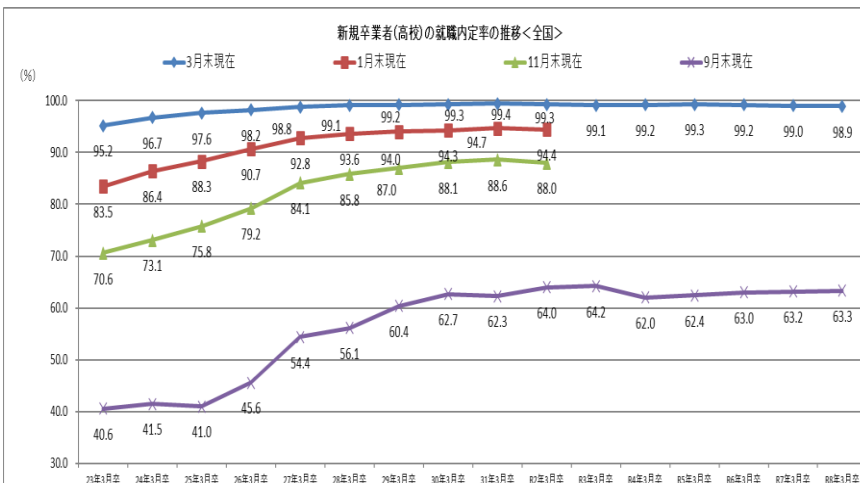
雇 用(高校新卒者の就職)

○岐阜県の令和8年3月末現在の高校卒業者(令和8年3月卒業)の就職内定率は99.9%であり、前年同時点と同率となった。

○全国の令和8年3月末時点の高校卒業者(令和8年3月卒業)の就職内定率は98.9%であり、前年同時点と比べ▲0.1ポイント減少した。

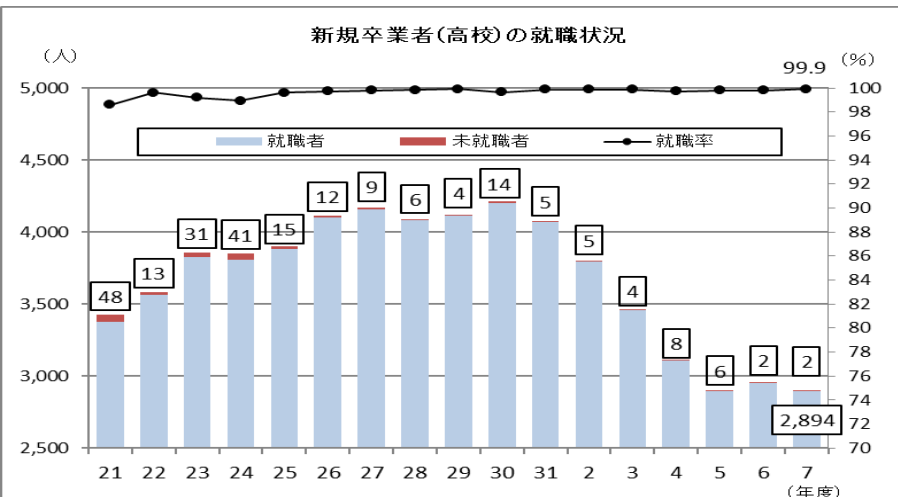


資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

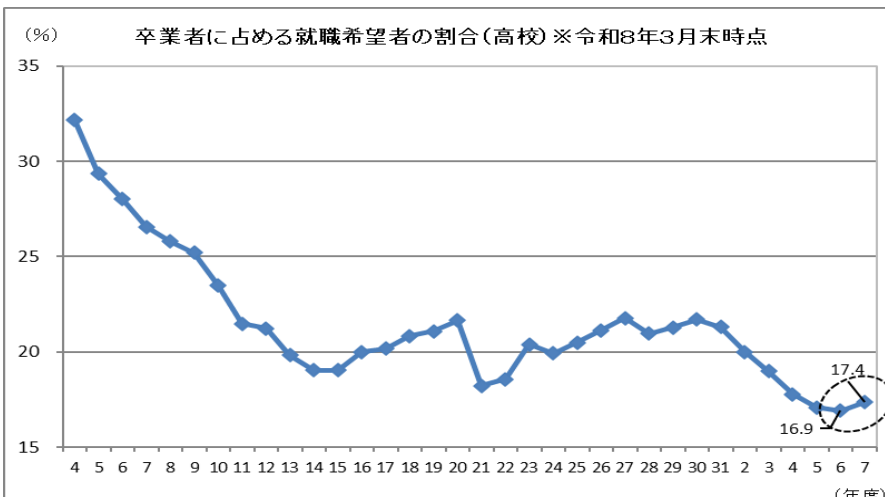


資料: 厚生労働省「高校・中学校卒業者の求人・就職内定状況等」

※R8年3月卒から「11月末」及び「1月末」は集計していない。



資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」



資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

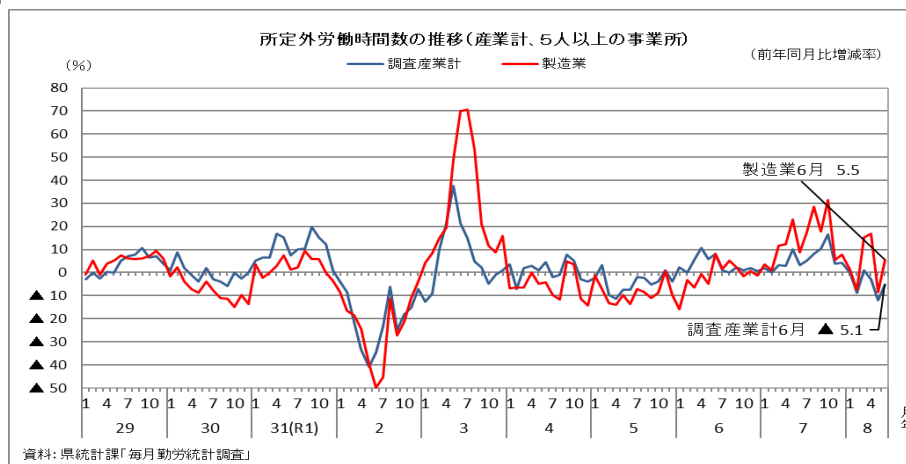
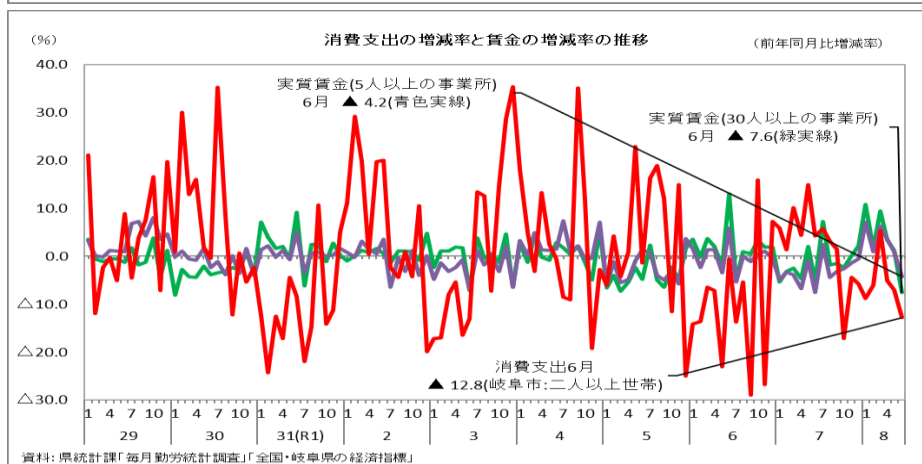
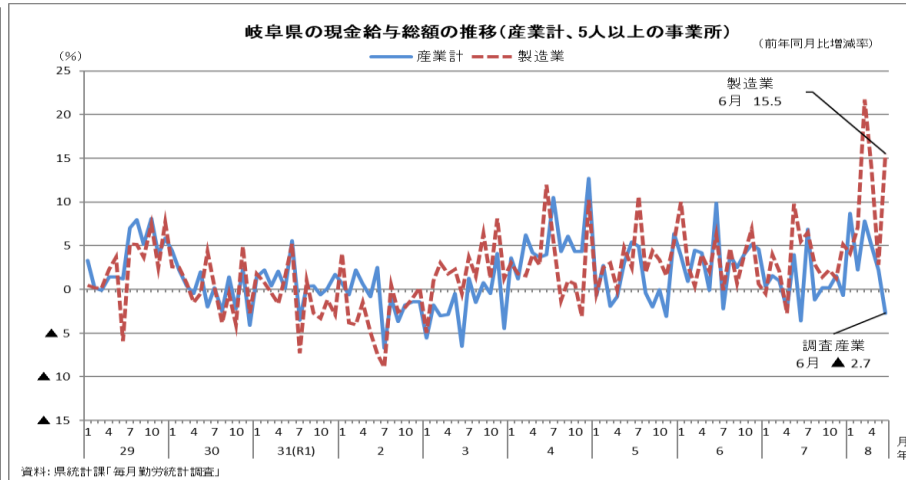
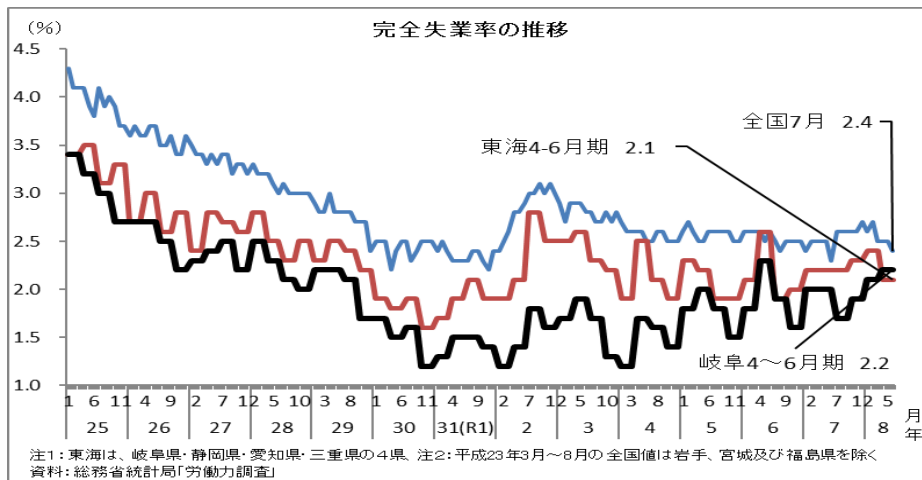
雇 用(完全失業率等)

○全国の7月の完全失業率は2.4%で前月比▲0.1%となった。岐阜県の4－6月期の平均は2.2%で前期比0.1%増加となった。

○6月の現金給与総額は、調査産業計で前年同月比▲2.7%、製造業で同15.5%増加となった。

○6月の実質賃金増減率は、30人以上の事業所で前年同月比▲7.6%、5人以上で▲4.2%となった。6月の消費支出については同▲12.8%となった。

○6月の所定外労働時間数は前年同月比で▲5.1%となった。



<経済・雇用の現状（総括）>

- 製造業は、6月の鉱工業生産指数は前月比▲1.6%となった。ヒアリングでは、航空機部品については、需要の拡大に伴い製造ラインを増やしたとの声がある一方、自動車メーカーの新車発表のサイクルが長くなり、新しい金型の受注が極端に減少したとの声も聞かれた。
- 地場産業は、6月の鉱工業生産指数は、繊維工業、窯業・土石で下降した。ヒアリングでは、和紙の照明はインバウンドが好調で、アメリカ向けの輸出も増えているといった声がある一方、陶磁メーカーでは、原料や燃料等の高騰による製品値上げ要請が生じているものの、商品への販売価格に完全に転嫁できず収益は一段と先細りとなっているといった声が聞かれた。
- 設備投資は、7月の全国の金属工作機械受注額は、前年同月比50.4%増加となった。ヒアリングでは熱中症対策や職場の魅力向上、生産性の問題からエアコンを28基設置したといった声がある一方、設備投資を行いたいのが厳しい状況といった声があった。
- 個人消費は、7月の販売額は、全体で前年同月比2.0%となった。ヒアリングでは、単月での売上は7月歴代4位、客数は7月歴代1位となり、累計(4-7月)では売上歴代3位、客数は歴代1位といった声がある一方、先月同様、商品の仕入れ条件が厳しくなっており、9月以降も価格上昇の傾向は続く見込みといった声があった。
- 観光は、宿泊者数は、前年同月を上回った。宿泊施設からのヒアリングでは、人手不足に苦慮しているとの声が多くあり、外国人人材を活用する施設もあった。
- 企業の資金繰りは、7月の制度融資実績は前年同月比65.1%増加となった。融資動向については中東情勢の影響による原材料の仕入れに備えるためや、円安の影響により木材、衣料の仕入れ額が高騰したことにより、運転資金の需要が高まっているとの声が聞かれた。
- 雇用面は、7月の有効求人倍率は1.43倍と前月比▲0.03ポイントとなった。ヒアリングでは、高卒者の採用は極めて厳しい状況で推移しているといった声や、固定費として人件費負担が大きくなっていくインフレ社会において、省人化設備投資が増え、従業員数を減少させる見立てで派遣型従業員はすでに減らしているといった声が聞かれた。